

教科名	理科	科目	化学演習(特進 高校3年I組)	単位	4
-----	----	----	-----------------	----	---

1. 教科書および副教材・参考書

【教科書】 改訂 化学（東京書籍）

【副教材】 通年：2021 セミナー化学基礎+化学（第一学習社） ※昨年度購入済み

通年：三訂版 フォトサイエンス化学図録（数研出版）

2. 授業の目標および内容

- ・気体、液体、固体の性質を探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。
- ・化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡を探究し、化学反応に関する概念や法則を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。
- ・有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。
- ・高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。
- ・上記の目標を達成するために探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。

3. 試験

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	—
学力試験	第1回 6月（100点）		第2回 9月（100点）		—

【内容・難易度について】

定期試験：履修した内容の理解度を確認することを目的とし、範囲を指定して出題。

学力試験：日本大学付属学校等基礎学力到達度試験を想定した難易度の問題を、今まで履修した範囲から出題。

4. 課題/補習・講習

4-1. 課題

各授業・各試験に対する分析レポートを課題とする。

4-2. 補習・講習

難関私立大学・国公立大学の入試問題を想定した講習（夏期）

5. 授業の進め方

4名の少人数クラスのため、それぞれの志望校・レベルに応じた入試問題を扱う。

クラスが平均して6割～7割程度得点できる入試問題を題材としたテストゼミ形式の授業を行う。

第1回：入試問題を解く →（家庭学習：解き終えなかったものを解く）→

第2回：答え合わせを行い、間違えたものは二人一組で解説を行う。

二人でも分からなかったものは、さらにクラス内で解説を行う。→（家庭学習：レポートの作成）

この第1回・第2回を繰り返す。

【授業計画】

学期	試験	学習内容	備考
1	一次	<p>【化学基礎全般】</p> <p>初回の問題では「基礎学力到達度テスト」を扱い、その得点率によって次回以降の題材を決定する。</p>	
	二次	<p>【理論・無機化学全般】</p> <p>1学期中に中堅私立大学の入試問題を題材にできるよう、レベルアップに努める。</p>	
2	一次	<p>【芳香族化合物を除く有機化学・理論化学・無機化学】</p> <p>中堅私立大学の芳香族化合物を除く全範囲の入試問題に対応できる学力を養う</p>	
	二次	<p>【総合問題演習】</p> <p>各々の志望校を見据え、難関私立大学の総合問題演習を行う。</p>	